

【概要】

本研究は、人口減少や高齢化が進む現代において、地域に様々な形で流入している「よそ者」に関する問題を、富山県高岡市山町筋地区を事例に、よそ者の分類と変容を明らかにし、考察を行った。これまでの研究に関しては、観光客や移住者など、様々なよそ者を区別せずに検討する例が多い。そこで、本論では、これまでひとまとまりにされてきた「よそ者」を、既存研究を参考に分類し、一つの事例蓄積として貢献することを目指した。結果として、「サービス創出者」とサービス創出から変容した「資源管理者」の存在が確認できた。既存の研究では、よそ者が、地域内で内部者にあたる「資源管理者」に移行することは難しいとあったが、地域行事への関わりのみでなく、仲介者の影響なども含めた資源管理を行ったことで、内部者に近い存在になっていることが分かった。

キーワード：よそ者， 外部人材, 山町筋地区